

戦国時代末期の三田 (2)

山崎片家・家盛時代の三田と 関ヶ原の戦い

天正 10 年(1582)頃、近江国から豊臣大名として山崎片家が三田城に入りました。幾多の戦いに参戦し、その後は嫡男家盛が跡を継ぎますが、この時代に三田城及び城下町は整備されたと伝わります。そして関ヶ原の戦い!!

家盛は西軍に与しながら、戦後は加増、転封！ 何故？



古城跡…井戸から「山崎家紋入りの瓦」出土
→天守台に2〜3層の城？



山崎氏の時代に整備されたとされる「三田城」想像図

「三田絵図で知る三田城と城下町」
高田義久氏 著より

講師 : 歴史文化財ネットワークさんだ 脇田 孜 氏

日時 : 8 月 10 日(木) 10 時 30 分〜12 時

場所 : 三田市立図書館 本館2F コミュニティホール

定員 : 先着 50 名 (申込不要、当日受付)

参加費 : 無料 駐車場に限りがあるため、公共交通機関での来館をお願いいたします。

【お問合せ先】○三田市立図書館本館 TEL. 079-562-7300

○歴史文化財ネットワークさんだ

メールアドレス rekinet3da@kjd.biglobe.ne.jp

ホームページ <https://rekinetsanda.jimdofree.com>

三田市立図書館
NPO法人 歴史文化財ネットワークさんだ 共催